



京都障害者雇用企業サポートセンター NEWS LETTER

～京都障害者雇用企業サポートセンター活用のヒント～

知っておきたい“実践アドバイザー”のアレコレ

京都障害者雇用企業サポートセンターでは「障害者雇用セミナー」「企業見学会」「個別相談会」の開催など障害者雇用に関する様々な支援を行っていますが、その要となっているのが『実践アドバイザー』の存在です。今回はこの『実践アドバイザー』についてご紹介します。

● 実践アドバイザーとは

京都障害者雇用企業サポートセンターでは、障害者雇用に関する知識や経験が豊かな企業の方等に『実践アドバイザー』としてのご協力をお願いしており、「障害者雇用セミナー」「企業見学会」「個別相談会」などを通してより実践的なアドバイスをいただいています。

● こんなことをやっています

① 障害者雇用促進セミナー・企業見学会の講師

採用から雇用管理・職場定着等、雇用促進のためのポイントをセミナーでお伝えしています。例えば、マネジメント層を対象としたセミナー「障害者採用の面接ポイント」では、講師の実践アドバイザーが企業の採用担当者役、スタッフが障害のある求職者役となって模擬面接を行い、面接時に必要な確認事項や質問、重視する内容等をお伝えしています。

企業見学会では、障害のある方を雇用している企業において「働きやすい職場づくりのための生産現場の取組」等を紹介しています。

〈今後予定している企業見学会〉

オムロン京都太陽株式会社、株式会社GSユアサウイング、日本新薬株式会社

② 特例子会社設立サポート

特例子会社とは、事業主が障害者雇用に特別の配慮をした子会

社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなし、実雇用率を算定できるものです。

障害の特性に配慮した仕事の確保・職場環境の整備が容易となり、障害のある方の能力を活かすことができるなどのメリットがあります。この特例子会社の設立を検討されている企業の皆様に、実際に設立に携わった実践アドバイザーが過去の経験を活かし、計画段階からアドバイスいたします。

③ 個別アドバイス

障害者雇用に関するお悩みや疑問点のある企業の皆さまのもとに直接お伺いし、業務内容や職場環境を踏まえたうえで、課題に応じたアドバイスを提供いたします。

—お悩み例—

- ・「企業側はどこまで障害の内容等について把握し、どのように本人と接していけば良いのか」
- ・「障害者雇用に対して、職員の意識改革や業務分野の拡大、専門職種との分担をどのように進めていけばよいか」…

● お気軽にご相談ください

実践アドバイザーの活用や障害者雇用に関するお問い合わせについては、どんなことでも結構ですので京都障害者雇用企業サポートセンターまでお気軽にご連絡ください。

企業視点でバックアップする専門窓口

京都障害者雇用企業サポートセンター

センターの
ご利用はすべて
無料

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ東館2階

TEL:075-682-8928 FAX:075-682-8949

【ご利用時間】月曜～土曜日/9時～17時(日・祝・年末年始休み)

<http://www.pref.kyoto.jp/jobpark/sksc.html> 京都障害者雇用企業サポートセンター 検索

「初めての障害者雇用セミナー」

これから障害者雇用に取り組もうとされている企業の方を対象に、雇用を進める際に見落としがちなことや、具体的な採用ルートなどを紹介しながら、障害者雇用のポイントを紹介。講義の後は質疑応答の時間が設けられ、参加者同士の活発な意見交換も行われました。

京都ジョブパーク 京都障害者雇用企業サポートセンター実践アドバイザー

杉山 昭夫 氏



初めての障害者雇用

雇用において大切なこと

企業が障害者雇用を進めるためには、採用担当者のみならず、障害のある人をこれから受け入れる現場の皆さんが「障害について学ぶ」とともに「障害者の働く現場を見学する」などして障害のある方と接する機会をつくることで体験的に理解を深めることが大切になってきます。企業が障害者を雇用する意義は「法定雇用率2%」という法律を遵守することにとどまらず、「企業の成長」にもつなげるという意識を持って、積極的に取り組んでもらいたいと考えています。

障害者雇用がもたらす効果

〈人材育成、適材適所のノウハウが向上〉

京都府の「障害者雇用に関するアンケート結果（平成22年）」を見ると、企業が障害者を雇用する理由の第1位は「障害者も十分な能力を持っている」でした。企業側は障害者を戦力として評価していることが分かります。また、障害者の雇用をきっかけとして、仕事を洗い出し分析すると現状のプロセス改善や製品・業務の質の向上も望めます。

〈作業効率の改善〉

事例として作業中にその都度やり方を説明していたのを、あらかじめ図示して書面で説明するなど、効率化を図っていくことができた例や、発送業務で一つの作業の間に確認作業を追加したことでダブルチェックができ、発送ミスを減らせたという事例があります。プロセスを見直し改善することで、障害の有無に関係なく誰もが働きやすい環境に整えることができます。

初めて雇用に取り組もうという企業の方は分からないことが多く、不安もあるかもしれません。どんな些細なことでもお気軽に当サポートセンターの相談窓口にお尋ねください。



6月以降のセミナー・相談会のお知らせ（参加費はいずれも無料です）

相談会 ● 京都障害者職業センターの職員による 個別相談会 7月15日(金) 13:30~16:20

内容：障害者雇用の支援を行っている「京都障害者職業センター」職員による専門的なアドバイスを個別に受けることができる相談会です。（1社50分）
会場：京都テルサ西館3階第4会議室
定員：3社（先着申込み順）
締切：7月11日（月）

相談会 ● 精神科医による個別相談会 7月28日(木) 15:00~17:00

内容：精神障害者の雇用について、心配になること、不安に思われることについてアドバイスを受けることができます（1社30分）。
会場：京都テルサ西館3階第3会議室
定員：3社（先着申込み順）
締切：7月22日（金）

◆お問い合わせ・お申し込み TEL:075-682-8928（担当：田中^{たなか}）

編集後記

今号のニュースレターは、サポートセンターの活動を支援する「実践アドバイザー」の活動内容についてご紹介しました。実践アドバイザーのこれまでの豊富な経験や人脈などを生かしたアドバイスをぜひご活用いただければと思います。まずはお気軽に当サポートセンターまでお問い合わせください。